

デイサービスセンタ 長生東

令和 6 年度 第 2 回運営推進会議資料



施設紹介

- デイサービスセンター長生東は茂原市千沢に以前は北消防署として使われてきた建物を改修して平成 25 年 9 月に開所した定員 18 名の地域密着型のデイサービスです。通常規模型のデイサービスで働いていた施設長が大人数での介護に限界を感じ、「利用者ひとりひとりとしっかり向き合いたい」「重度な身体状況の方にもプライバシーに配慮した介護を実践したい」「介護保険制度が求めるデイサービスを作りたい」という思いで独立して作った施設です。



- 基本理念

- 介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしく生活が続けられるよう支援する
- 常にコンプライアンスを意識して事業活動を行う
- 次世代の福祉を担う人材の育成に寄与する

- 長生東の特徴

- 完全バリアフリーの施設、車椅子対応のトイレ、歩けない方でも安全に入浴できる特殊浴槽、車椅子のまま乗車できる送迎車両を 5 台整備して重度な方でも安心してご利用できる環境を整えている。また、入浴は完全個別対応で重度な方でも他の利用者の目を気にすることなく入ることができます。プライバシーに配慮した対応を行っている。



●様々な機能訓練マシンの導入、外に出ての歩行訓練、午前午後 30 分ずつの集団での上下肢の体操といった身体的な機能訓練と合わせ、洗濯、調理炊飯、裁縫など生活訓練を行い、在宅生活の継続を意識した機能訓練を実施している。



●管理栄養士が献立を考え、施設内の厨房で調理員が作り、温かく、栄養バランスのとれた食事を提供している。



●生活相談員は社会福祉士、介護支援専門員であり専門的な知識を持ちソーシャルワークを行い、看護師は正看護師を毎日配置している。介護員は介護福祉士や介護支援専門員の資格を持つ者もあり、認知症や重度の身体状況の方にも適切な介護を行えるスキルを有している。毎月施設内で研修を行い、適宜外部研修にも参加させ知識、技術の研鑽に努め、それぞれの専門職種が有する能力を発揮してデイサービス内でチーム支援を行っている。



1. 事業実績

(1) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
延べ利用者数	349	412	373	334	389	351	413	2,621
平均利用者数	16.6	17.9	17.8	15.2	16.9	17.6	18.0	17.1
稼働率	92%	100%	99%	84%	94%	98%	100%	95%

- 上半期平均稼働率は前年度の78%と比較して17%上昇した。併設していた居宅介護支援事業を4月から休止しているが通所稼働率への影響はなく大幅な上昇に転じた。稼働率上昇の要因は前年度下半期から稼働率は上昇傾向ではあったが、利用者の登録者数は横ばいで1名当たりの週間単位での利用回数の増加が要因と考えられる。7月は職員3人同時にコロナに罹患し2日間休業したため稼働率が低下した。
- 福祉医療機構「2021年度（令和3年度）通所介護経営状況について」によると全国の地域密着型通所介護の稼働率の平均は73.5%であるため平均より上回った稼働率ではあるが、同報告では全国の赤字経営の事業所が44.3%にも上っており、おおよそ半数近くの事業所が赤字に近い経営状態であることを踏まえると全国の平均稼働率の約70%辺りが損益分岐と考えられる。
- ウクライナ情勢の影響による水道光熱費や燃料費、食材料費等の物価の上昇、人件費の高騰などにより経費率の上昇が続き、介護報酬においても基本報酬は若干上がったものの入浴加算などの減額があり利用者一人当たりの利益率は低下している状況である。

(2) 登録利用者の要介護度の状況（令和6年10月現在）

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	0	3	12	12	6	3	2	38
割合	0%	8%	32%	32%	16%	8%	5%	100%

- 平均介護度は2.17。前年度平均は2.23。年々軽度化している。軽度化の大きな要因は要介護3～要介護5の方の特別養護老人ホームへ入所がしやすくなつたためと考えられる。
- 長生東は特殊浴槽やリフト車両などハード面の整備、重度へ対応できる職員のスキルを持っている為、重度な方の受け入れを積極的に進めていきたい。

(3) 登録利用者の男女別の状況（令和6年10月現在）

性別	男	女	合計
人数	9	29	38
割合	24%	76%	100%

- 女性の利用者が多い傾向ではあるが、男性の新規利用の相談の際に男性の多い曜日を説明し、現在は木曜日が定員 18 名に対して 7 名が男性の登録で喜ばれている。

(4) 登録利用者の世帯の状況（令和 6 年 10 月現在）

独居	老々介護	日中独居	その他	合計
14	4	6	14	38
37%	11%	16%	37%	100%

- 前年度末の独居利用者は 30 %であったが今年度上半期は 37 %と増加している。
- 独居の方 14 人のうち、市内に家族等がいる方が 6 人、県内が 4 人、県外が 3 人、家族等がない方が 1 人となっている。
- 利用者のうち 34 人は持ち家、4 人は賃貸であり、その 4 人全員が独居である。
- 認知症を持ちながら地域で暮らす利用者の支援を進めていきたいが、特に独居の方の支援の方法を様々考えていきたい。

(3) 圏域ごとの利用者数と割合（令和 6 年 3 月現在）

圏域	ほんのう	ちゅうおう	もばら	みなみ	他市町村	合計
人数	28	5	4	1	0	38
割合	74%	13%	11%	3%	0%	100%

- 当事業所は平成 28 年 4 月から地域密着型通所介護となり茂原市の被保険者のみが利用できるサービスとなった。
- 地域密着への移行時（平成 28 年 3 月）の保険者ごとの割合は茂原市 44%、白子町 44%、長生村 13% であり、茂原市の被保険者である利用者は半分満たない状況であった。
- その後、新規利用者は茂原市の被保険者のみとなつたが、地域密着型サービスの特徴のひとつとして地域との連携『事業者は、事業を運営するに当たっては、地域との結びつきを重視し、市町村、他の地域密着型サービス事業者又は居宅サービス事業者、さらに保健医療サービス・福祉サービスの提供者との連携に努めることとされている』（厚生労働省 平成 29 年 3 月 地域密着型サービスの概要より抜粋）とされており、茂原市全域において地域資源の把握、地域との連携を図ることは困難であると判断し、概ね中学校区と言われる日常生活圏域内のサービス提供を進めている。
- 開所から 10 年が経過し、地域住民から直接サービス利用の相談を受けることも増え、同時にケアマネジャー や地域包括支援センター等へ上記の運営方針を伝え現在では利用者の 74 %がほんのう地域包括支援センターの担当地域の住民となっている。

(4) 取引先の居宅介護支援事業所（令和6年3月現在）

事業所名	人数	事業所名	人数
ボーソーヒルズ居宅支援事業所	6	リンクス居宅介護支援事業所	1
茂原訪問看護ステーション	5	リンクス居宅介護支援事業所大網白里	1
居宅介護支援事業所ぶらんどーる	3	恵ケアセンター市原	1
ケアプランここね	2	さくら・居宅介護センター	1
モルゲンケアプラン	2	むうみんケアセンター	1
ケアプランすまいる	2	居宅介護支援センター共楽園	1
居宅介護支援センター光風荘	2	セントケア茂原	1
ヤックスケアンセンター茂原	1	居宅介護支援事業所かしま	1
グッドケア居宅介護支援事業所	1	ケアプランえにし	1
介護老人保健施設つくも苑	1	ほんのう地域包括支援センター	1
いきいきケアサポート	1	あおばケアプランサービス	1
ケアプランかけはし	1		

- 前年度末の取引先は20事業所であったが今年度末は23事業所と増えている。
- 併設の居宅介護支援事業所を4月から休止している。同一事業所での支援は連携がとりやすくメリットも多いが、他法人との連携においての緊張感などは重要な事であり、同一法人同様の連携はとりながら良い関係性を築いていきたい。

(5) 職員配置について

- 管理者・生活相談員 常勤・兼務1名 【社会福祉士・介護支援専門員・介護福祉士】
 - 看護師・機能訓練指導員 非常勤・兼務2名 【正看護師（2名）介護支援専門員（1名）】
 - 介護員・生活相談員 常勤・兼務1名 【介護福祉士・介護支援専門員】
 - 介護員 常勤・専任3名 【介護福祉士（1名）ホームヘルパー2級（1名）無資格（1名）】
非常勤・専任2名 【ホームヘルパー2級（1名）無資格（1名）】
- ※無資格の2名は認知症介護基礎研修受講済み
- 一日の出勤者数は相談員、看護師、介護員あわせて7～8名となっている

■直接処遇の職員のほか、調理員、掃除等の作業員の2名が毎日出勤している。なお、作業員は地域の高齢者を雇用している。

職員研修

- 毎月施設内での職員研修を実施している。また、適宜外部研修への参加も行っている。

研修名	参加者	開催日時
接遇・マナー 記録の書き方	並木・佐久間・佐々木・上代・林(直)・森川	4月18日
事業報告・事業計画について	並木・佐久間・佐々木・上代・林(直)・森川	5月28日
虐待防止	並木・佐久間・佐々木・上代・林(直)・森川	7月24日
介護保険制度・地域包括ケアシステムについて	並木・佐久間・佐々木・上代・林(直)・森川	8月29日
介護職員等処遇改善加算取得促進セミナー 主催:公益財団法人 介護労働安定センター	林(正)	6月26日
精神保健福祉士短期養成通信課程【スクーリング】8日間 【実習】ワーナーホーム15日間 鈴木神経科病院12日間	林(正)	6月～9月
令和6年度第1回認知症疾患医療連携協議会 主催:浅井病院認知症疾患医療センター	林(正)	9月27日
第6回茂原在宅勉強会 障害福祉サービスについて 主催:茂原すみれ訪問クリニック	林(正)	9月27日
介護職員スキルアップセミナー 介護技術 主催:パラメディカル研修センター	佐久間	10月29日
ヒヤリハット・事故防止・緊急時対応について	並木・佐久間・上代・林(直)・森川	10月30日
協働のまちづくりセミナーin長生地域 主催:千葉県	林(正)	11月8日
介護職員スキルアップセミナー 介護技術 主催:パラメディカル研修センター	林(直)	11月12日

その他報告

- 9月18日夜間から翌朝にかけての間に送迎車両の前後のナンバープレートが盗難された。近隣の南吉田郵便局の盗難や強盗などの報道も続いており、施設の外に4台、施設内に4台の防犯カメラを設置することとなった。施設内のカメラについては防犯とともに、サービス提供中の事故やヒヤリハットの検証にも有効と考えている。
- 以前よりてんかん発作が頻発する利用者、自閉スペクトラム症の利用者の受け入れをしているが、前年度から経管栄養が必要な利用者の受け入れを始め、今年度は障害者グループホームに入居している統合失調症の利用者の受け入れがあり、様々な疾病の方を受け入れその疾病の症状や特性に合わせた適切な対応ができるよう職員の知識や技術の研鑽に努めている。
- 利用者同士の物のやり取りは様々な疾病を持たれている方も多く、体への影響やトラブルを防止するためにご遠慮いただいており、利用契約時に説明をしているが、職員に隠すように物のやり取りをしていることがあり都度説明をしている。食べ物や湿布薬などのやり取りがあったが、今回確認されたケースはサプリメントを渡していたため、非常に危機感を感じ、全ての利用者へ再度文章でお願いして繰り返す方に関しては他の利用者を守るためにも利用を中止していただく旨お伝えした。
- 10月に新たに機能訓練のマシンを購入した。炊飯や洗濯などの生活訓練と並行して基礎的な体力の維持向上を図るための機能訓練を実施している。
- 送迎車両7台全車にドライブレコーダーを導入した。
- 介護職員待遇改善に関して当施設では介護報酬の9%を加算として算定して介護職員のみに分配している。令和6年10月の支給実績は時給1,556円～1,296円となっている。

総括

- 開所から10年を過ぎ、高い稼働率で推移している。職員も充足しており非常に安定的な運営となっており、今後も利用者に対して質の高いサービスの提供、職員に対して報酬や休暇など安心して働くことのできる環境を整え、現在の運営状態を維持していきたい。
- 独居、日中独居の利用者も全体の50%を超えており、要介護状態の高齢者が地域で一人暮らしを続けていくためには地域からの支援は大きな力となる。利用者はほんのう地域包括支援センター担当地域の住民が全体の74%である。地域の資源とのつながりをより強いものとして行きたい。